

(意見提出手続の意見募集結果)

北海道上川地域公共交通計画（素案）についての意見募集結果

令和5年（2023年）年6月30日

北海道上川地域公共交通計画（素案）について、意見提出手続により、皆様からご意見を募集したところ、2人から延べ2件のご意見が寄せられました。

ご意見の要旨及びご意見に対する協議会の考え方については、次のとおりです。

意見の概要	意見に対する協議会の考え方※
<p>新型コロナウイルス感染症の影響や人口減少に伴って、乗客数が大きく減少し、また、交通事業者の収支が悪化するなど、公共交通を取り巻く環境が厳しいことは理解できました。</p> <p>一方で、高齢化に伴う運転免許返納者の増加により、今後公共交通の重要性は高まることが予想されます。</p> <p>道は険しいですが、計画に基づき施策を着実に進めていただきたいと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、安全・安心な地域社会の構築のためには、広域的な視点による公共交通施策の推進が必要であると認識しており、計画策定後も法定協議会を毎年開催し、計画の推進管理を着実にしながら、本計画で定めた将来像の実現に向けて取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>JRや路線バスの利用実態調査や管内を5地域に区分した課題分析など、データや図を用いた記述内容となっており、管内の公共交通の実情がよくわかった。</p> <p>住民アンケートの結果では、公共交通を利用したことがないとの回答が9割近いとの回答があり、上川地域の過度な自家用車利用の実態が明らかになっている。</p> <p>管内の移動手段が自家用車しかないという状況は、国内外の観光客や自家用車を利用できない、もしくは利用したくないという者の移動の権利を奪っていることと同じである。普段から自家用車以外の移動の自由を確保するためにも、公共交通の維持確保に努めていただきたい。</p> <p>地域の公共交通を地域住民の足としてのみ捉えるのではなく、地域外から上川地域を訪問する者が広域に移動するための手段であるという視点に立脚することにより、計画に記載のある観光誘客による公共交通の利用促進につながるものと考えてるので、今後の計画推進に期待する。</p>	<p>ご意見のとおり、高齢者など自家用車が運転できない人の移動手段を確保し、安心して日常生活を送れるよう、将来にわたり持続可能な形で公共交通を確保していくことは本地域の重要な課題のひとつであり、住民はもとより来訪者など誰もが使いやすい公共交通ネットワークを構築し、利用促進に向けて取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>

※「意見に対する道の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

区分	意見等の反映状況
A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等